

令和5年

火災

救急

救 助

通信

概況

上越地域 Joetsu Area Fire Dept. 消防局

目 次

火災編

1	火災発生状況1
2	火災の特徴2
3	出火原因4
4	火災による死傷者5
5	損害額の推移5
6	焼損面積の推移6
7	住宅火災の状況6
8	住宅用火災警報器7
9	火災状況比較9
10	管内地域別署所別火災状況比較10
救	双急編
1	救急出場状況11
2	救急搬送人員13
3	救急活動平均所要時間14
4	応急手当実施状況15
救	切編
1	救助出場状況
2	地域別救助出場状況
通	值信編
1	1 1 9 番受付状況19
2	口頭指導実施状況
3	外国語通訳状況

火災編

1 火災発生状況

■火災件数は72件

令和5年の火災件数は72件で、前年比で2件増加しました。建物火災は8件減少しましたが、住宅火災は1件増加しました。また、その他火災が7件増加、次いで林野火災が2件増加、車両火災は1件増加しました。

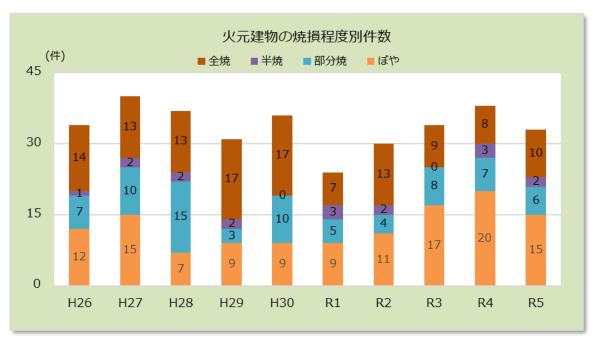
火災発生状況											
	令和4年	割合	令和5年	自	増減						
火災件数	70	100.0%	72	100.0%	2						
建物火災	41	58.6%	33	45.8%	A 8						
住宅火災	16	39.0%	17	51.5%	1						
林野火災	2	2.8%	4	5.6%	2						
車両火災	7	10.0%	8	11.1%	1						
その他火災	20	28.6%	27	37.5%	7						



2 火災の特徴

■火元建物の焼損程度別件数

火元建物の焼損程度別件数はぼやが15件と最も多く、次いで全焼が10件でした。



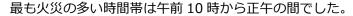
※爆発等に該当する火災、火元が建物以外の建物火災を除く

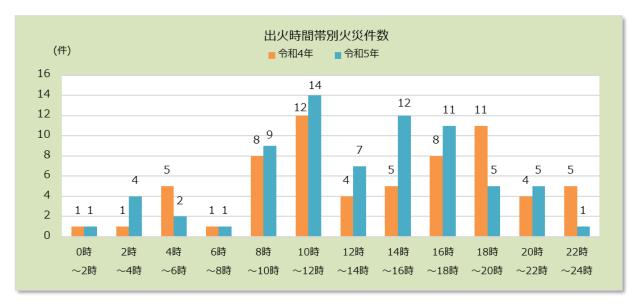
■月別火災発生状況

ひと月当たりの平均火災件数は6件で、8月は最も多く11件の火災が発生しました。



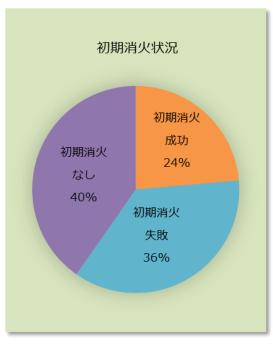
■時間帯別火災発生状況

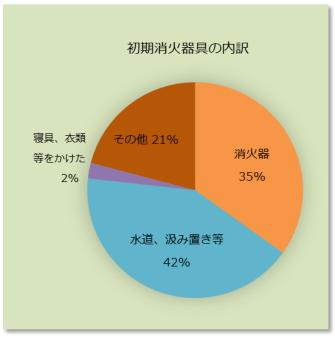




■初期消火状況

初期消火状況は約6割の火災で初期消火が行われており、そのうち約8割が消火器又は水道水、汲み置き等によるものでした。





3 出火原因

■出火原因は「たき火等」が1位

主な出火原因は「たき火等」が24件と最も多く、次いで「電気関係」が8件、「放火(疑いを含む)」が8件、「こんろ」が4件でした。



■出火原因の詳細

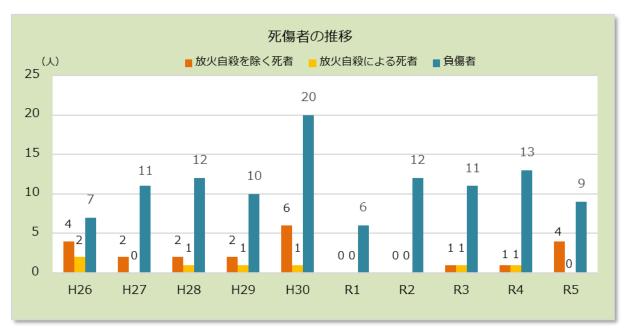
	たき火(ゴミ焼却等の拡大・飛び火)	17	(件)
■たき火等	火入れ (枯草焼きが拡大)	6	
	その他(燻炭焼きの飛び火)	1	
	電気配線(高圧線含む)、プラグ	5	
■電気関係	業務用電気機器(冷却装置、籾乾燥機)	2	
	低圧進相コンデンサの破裂	1	
	グラインダー、研磨機等の火花	3	
■その他(主なもの)	マッチ、ライター、ガストーチバーナー	3	
	炭火、取灰	2	

4

4 火災による死傷者

■火災による死者4人、負傷者は9人

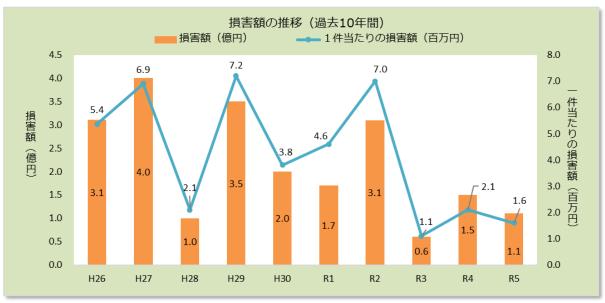
火災による死者は前年比で2人増加し、4人でした。



5 損害額の推移

■火災による損害額の推移

火災損害額は総額で約1億1,339万円、1件当たり約157万円でした。



6 焼損面積の推移

■ 焼損床面積は 2,769 ㎡

焼損床面積は2,769㎡で、前年より増加しました。



7 住宅火災の状況

■住宅火災の発生状況

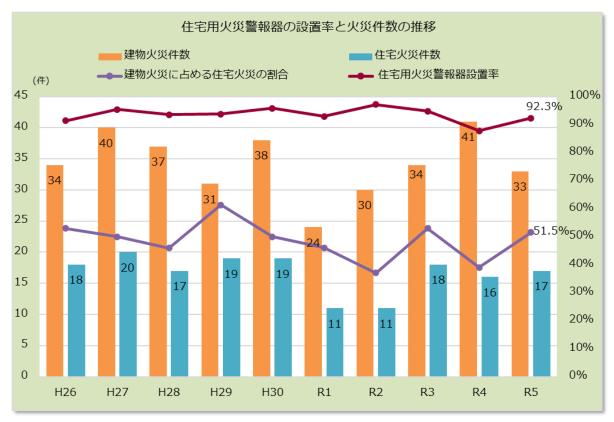
住宅火災※の発生割合は過去10年平均よりわずかに高くなりました。

		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	過去10年平均
建物	加火災件数	24	30	34	41	33	34
	うち住宅火災	11	11	18	16	17	17
	住宅火災割合	45.8%	36.7%	52.9%	39.0%	51.5%	50.0%
焼損	員棟数	38	61	56	52	60	59
	うち住宅火災	22	31	30	23	34	33
	住宅火災割合	57.9%	50.8%	53.6%	44.2%	56.7%	55.9%
建物	勿火災損害額(千円)	153,491	302,664	62,907	145,571	107,948	210,282
	うち住宅火災	98,365	178,207	23,780	53,651	78,619	90,873
	住宅火災1件当たり	8,942	16,201	1,321	3,353	4,625	5,345

※住宅火災: 専用住宅、共同住宅の住戸部分、併用住宅(住居部分の面積が延べ面積の 20%以上のものに限る)の住宅 部分から出火した火災。

■住宅火災件数の推移

建物火災に占める住宅火災の割合は前年より上昇しました。



8 住宅用火災警報器

■住宅用火災警報器の設置率

令和5年6月1日時点における住宅用火災警報器の設置率は92.3%、条例適合率は65.4%でした。

住宅用火災警報器の設置率(令和5年6月1日現在)									
	設置率 ※1	条例適合率 ※2							
上越地域消防局	92.3%	65.4%							
新潟県	88.7%	70.4%							
全国	84.3%	67.2%							

※1 設 置 率:火災予防条例で設置が義務づけられている住宅の部分(すべての寝室と、寝室が2階にある場合は階段の上 部)のうち、1か所以上に設置されている世帯の全世帯に占める割合

※2 条例適合率:火災予防条例で設置が義務づけられている住宅の部分(すべての寝室と、寝室が2階にある場合は階段の上部)のすべてに設置されている世帯の全世帯に占める割合

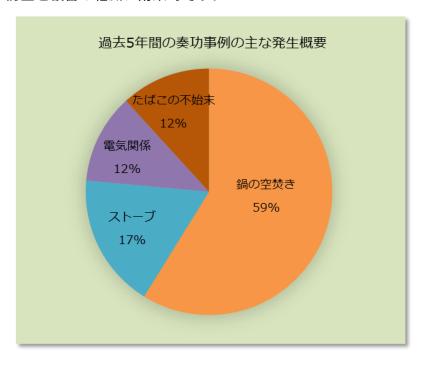
■住宅用火災警器の奏功事例

住宅用火災警報器を設置したことによって、火災に至らなかった、又は被害が軽減した火 災事例が毎年報告されています。

		奏」	边事例件数				
	→ T1 <i>n</i> L va_	被害程度					
	奏功件数	被害なし	ぼや	部分焼	半焼	全焼	
平成25年	6	3	1	2			
平成26年	4	4					
平成27年	5	4	1				
平成28年	4	1	1	2			
平成29年	2	2					
平成30年	4	3	1				
令和元年	3	2				1	
令和2年	2					2	
令和3年	4	1	1	2			
令和4年	4	2		2			
令和5年	2	2					
合 計	40	24	5	8		3	

■過去5年間の奏功事例発生概要

奏功事例の約6割は鍋の空焚きで、台所で発生しています。台所への住宅用火災警報器の 設置が火災の防止と被害の軽減に効果的です。



9 火災状況比較

	f	介和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	過去10年 平均
火 災 件 数		38	44	58	70	72	55.0
建物火災		24	30	34	41	33	34.2
住宅火災		11	11	18	16	17	16.6
設置あり		8	6	12	11	11	10.3
住警器 設置状況 設置状況	,	2	5	5	4	2	4.5
不明		1		1	1	3	1.7
林野火災		1		1	2	4	1.5
車両火災		6	4	10	7	8	8.0
船舶火災		1					0.1
その他火災		6	10	13	20	27	11.2
焼 損 棟	数	38	61	56	52	60	58.5
り 災 世	帯	20	34	29	24	28	29.8
り災人	員	61	79	65	63	58	72.9
建物焼損床面積(n)	2,056	3,801	1,819	2,245	2,769	3,358.7
建物焼損表面積(ก๋)	757	381	120	88	317	377.2
林野焼損面積()	36		51	1	62	121.3
損 害 額(チ)	1	74,602	308,464	64,802	149,852	113,391	217,844
死 者 合 計(人)		0	0	2	2	4	2.9
(うち放火自殺者数)				(1)	(1)		(0.7)
建物火災				2	2	4	2.3
林野火災							0.0
車両火災							0.2
船舶火災							0.0
その他火災							0.4
負傷者合計()	6	12	11	13	9	11.1
建物火纸		3	9	8	10	6	8.0
林野火災							0.4
車両火災			1	1			0.6
船舶火災							0.0
その他火災		3	2	2	3	3	2.2

10 管内地域別署所別火災状況比較

	区分	火災	件数	焼損	棟数	り災世	世帯数	死傷		建物焼損尿	下面積 (m)	損害額	(千円) ※1	出火率 ※2
地	域	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R5
1	合 計	70	72	52	60	24	28	15 (2)	13 (4)	2,245	2,769	149,852	113,391	3.4
	旧上越市	28	27	20	31	11	17	5 (1)	6 (2)	288	2,288	85,004	92,090	2.1
	安塚区	2	4	1	2	1	1	1	1			2	13	21.2
	浦川原区	1	2		1						68	58	6,192	6.9
	大島区	2		1				1				1		0.0
上	牧区	1		1						35		250		0.0
	柿崎区	7	4	12		8		4 (1)		664		16,999	117	4.7
	大潟区	4	2	3	2	2		2		116		14,195	8	2.2
越	頸城区	6	4	6	11	1	4		1 (1)	290	129	14,290	9,142	4.4
	吉川区	2	3		3		2	1	1		81		836	8.7
	中郷区	2		1								907		0.0
市	板倉区	4	5	1				1	1	104		1,327		8.4
	清里区	1	2											8.4
	三和区	1	1	1	1		1			10		81	6	2.0
	名立区	3	2	2		1			1	94		3,250		9.1
	小計	64	56	49	51	24	25	15 (2)	11	1,601	2,566	136,364	108,404	3.1
	新井地域	3	8	1	6		2		1	318	108	4,927	2,282	3.5
妙高	妙高高原地域	3	5	2	3		1		1 (1)	326	95	8,561	2,546	12.1
市	妙高地域		3										159	9.4
	小計	6	16	3	9	0	3	0	2	644	203	13,488	4,987	5.4
١	越消防署	18	20	15	18	6	8	3	3 (1)	419	276	22,133	35,319	
上	越南消防署	14	10	9	23	4	13	2 (1)	4 (2)	159	2,128	77,139	65,875	
亲	f井消防署	9	13	3	6		2	1	2	422	108	7,161	2,282	
垩	東北消防署	13	9	15	5	10	2	7 (1)	1	780	81	31,194	961	
垩	爾消防署	3	8	2	3		1		1 (1)	326	95	8,561	2,705	
身	東頸消防署	5	6	2	3	1	1	2	1		68	61	6,205	
2	A立分遣所	3	2	2		1			1	94		3,250		
Ē	高士分遣所	5	4	4	2	2	1			45	13	353	44	

※1 出火率:人口1万人当たりの火災件数

救急編

1 救急出場状況

■ 救急出場件数は 10,856 件

令和5年の救急出場件数は10,856件で、前年比で739件増加しました。1日平均約29.7件、約48.4分に1回の割合で救急車が出場しました。

	事故種別救	急出場件数	
	令和4年	令和5年	増減
急 病	6,514	7,063	549
一般負傷	1,599	1,656	57
交通事故	431	447	16
労働災害	156	146	▲ 10
運動競技	53	80	27
自損行為	88	85	▲ 3
加害	20	22	2
火 災	38	57	19
自然災害	15	0	▲ 15
水難事故	14	9	▲ 5
その他	63	94	31
転院搬送	1,126	1,197	71
合 計	10,117	10,856	739

■過去5年間の推移

令和5年は、過去最多の出場件数でした。



■管内地域別署所別救急出場状況

令和5年の出場件数を市別で見ると、上越市が9,219件、妙高市が1,628件でした。

					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	效急事故	女種別件	数						
		合計	火災	自然災害	水難	交通	労 働 災 害	運 動 競 技	般負傷	加害	自損行為	急病	転 院 搬 送	その他
	合 計	10,856	57	0	9	447	146	80	1,656	22	85	7,063	1,197	94
	旧上越市	6,262	20	0	7	271	81	52	880	14	46	4,116	730	45
	安塚区	167	4	0	0	4	1	1	42	0	0	88	26	1
	浦川原区	167	2	0	0	7	4	0	18	2	1	114	18	1
上	大島区	99	1	0	0	4	1	0	14	1	0	60	17	1
	牧 区	123	0	0	0	2	3	0	22	0	1	61	34	0
	柿崎区	467	3	0	0	15	7	5	64	1	6	296	64	6
	大潟区	433	1	0	1	14	3	5	94	0	2	265	39	9
越	頸城区	423	3	0	1	27	11	3	47	0	1	317	10	3
	吉川区	167	2	0	0	7	2	0	16	0	2	113	20	5
	中郷区	149	0	0	0	6	4	1	25	0	5	106	1	1
	板倉区	245	3	0	0	9	0	0	23	3	2	171	31	3
市	清里区	120	2	0	0	1	2	0	18	0	0	81	14	2
	三和区	223	2	0	0	12	6	1	37	1	3	141	18	2
	名立区	174	1	0	0	4	1	0	33	0	6	116	11	2
	小 計	9,219	44	0	9	383	126	68	1,333	22	75	6,045	1,033	81
	新井地域	1,038	6	0	0	42	6	4	157	0	8	714	94	7
妙高	妙高高原地域	396	5	0	0	8	3	7	127	0	1	180	61	4
市	妙高地域	194	2	0	0	11	11	1	38	0	1	120	9	1
	小 計	1,628	13	0	0	61	20	12	322	0	10	1,014	164	12
他	,市町村	9	0	0	0	3	0	0	1	0	0	4	0	1
上	越消防署	3,375	22	0	5	143	52	26	408	11	32	2,257	388	31
上	越南消防署	3,066	14	0	2	135	36	31	474	4	19	1,952	374	25
新	井消防署	1,494	16	0	1	61	15	4	231	3	12	999	140	12
頸	北消防署	917	0	0	1	37	13	9	151	1	9	611	78	7
頸	南消防署	567	1	0	0	20	12	8	147	0	4	306	64	5
東	頸消防署	512	1	0	0	19	7	1	92	3	1	317	65	6
名	立分遣所	221	0	0	0	12	1	0	40	0	4	151	11	2
高	士分遣所	704	3	0	0	20	10	1	113	0	4	470	77	6
	合 計	10,856	57	0	9	447	146	80	1,656	22	85	7,063	1,197	94

2 救急搬送人員

■救急搬送人員は 10,177 人

令和5年の救急搬送人員は10,177人で過去最多となり、高齢者の搬送が約70%を占めています。

	救急搬送人員												
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	高齢者の割合	合計	割合					
旧上越市	22	212	175	1,460	3,993	68.1%	5,862	57.6%					
安塚区	0	3	2	16	138	86.8%	159	1.6%					
浦川原区	0	6	2	36	116	72.5%	160	1.6%					
大島区	0	0	0	12	83	87.4%	95	0.9%					
牧 区	0	0	0	18	98	84.5%	116	1.1%					
柿崎区	1	4	13	80	335	77.4%	433	4.3%					
大潟区	0	10	13	95	278	70.2%	396	3.9%					
頸城区	0	13	13	89	281	71.0%	396	3.9%					
吉川区	0	3	1	31	113	76.4%	148	1.5%					
中郷区	0	2	4	34	101	71.6%	141	1.4%					
板倉区	0	9	5	49	168	72.7%	231	2.3%					
清里区	0	3	2	12	94	84.7%	111	1.1%					
三和区	0	2	5	40	164	77.7%	211	2.1%					
名立区	0	3	1	23	138	83.6%	165	1.6%					
新井地域	0	55	25	231	670	68.3%	981	9.6%					
妙高高原地域	0	9	19	122	229	60.4%	379	3.7%					
妙高地域	0	4	3	49	129	69.7%	185	1.8%					
他市町村				6	2	25.0%	8	0.1%					
合 計	23	338	283	2,403	7,130	70.1%	10,177	100.0%					

■過去5年間の推移

軽症者の搬送人員は増加傾向です。

	傷病程度※別救急搬送人員の推移(過去5年間)													
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年									
軽 症	4,160	3,561	3,868	4,512	4,969									
中等症	3,750	3,378	3,824	3,933	3,980									
重症	974	893	967	949	1,026									
死亡	256	228	212	254	202									
その他	2													
合 計	9,142	8,060	8,871	9,648	10,177									

※傷病程度

軽 症:入院を要しないもの

中等症:21日未満の入院を要するもの 重 症:21日以上の入院を要するもの 死 亡:初診時死亡が確認されたもの

その他: 医師の診断のないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

3 救急活動平均所要時間

■現場到着所要時間と病院収容所要時間

現場到着所要時間※1 は平均約 10 分、病院収容所要時間※2 は平均約 39.1 分でした。

	所要時間	現場到着 (分)		病院収	学 (分)	
事故種別		令和4年	令和5年	令和4年	令和5年	
急	病	10.3	9.9	38.4	38.4	
交 通 引	事 故	11.1	10.9	42.9	43.3	
一般負	負 傷	10.5	10.5	40.8	41.8	
上記以	以 外	9.5	9.4	38.1	38.1	
平	均	10.2	10.0	38.9	39.1	

※1 現場到着所要時間: 覚知から現場到着までの所要時間 ※2 病院収容所要時間: 覚知から病院収容までの所要時間

4 応急手当実施状況

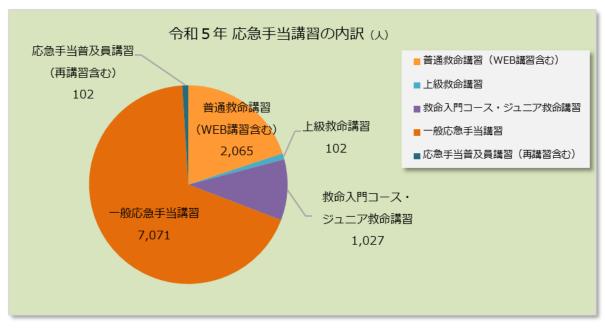
■応急手当講習受講者の推移

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、減少していた講習会の受講者は増加しました。



■応急手当講習の内訳

普通・上級救命講習や事業所での指導者育成を目的とした応急手当普及員講習を中心に、質の高い 応急手当ができるバイスタンダー※ の育成を行いました。



※バイスタンダー:救急現場に居合わせた人

■応急手当実施状況

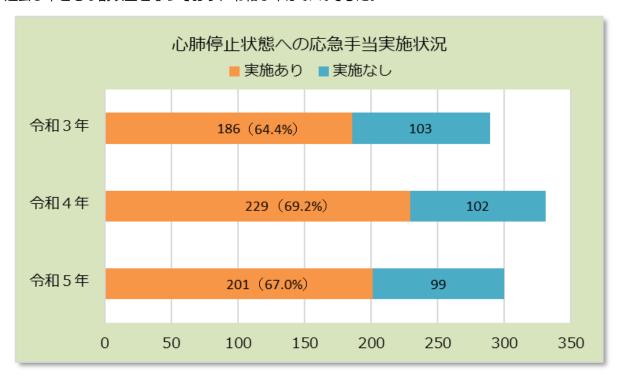
バイスタンダーによる主な応急手当実施件数※は、胸骨圧迫 259 件、止血 223 件などでした。



※応急手当実施件数は、現場到着時に救急隊が実施を確認できた件数

■ 心肺停止状態の傷病者への応急手当実施状況

バイスタンダーが心肺停止状態の傷病者に胸骨圧迫やAED等の応急手当を実施していた割合は、 過去3年とも6割以上となっており、令和5年は67%でした。



救助編

1 救助出場状況

■救助出場件数は86件

令和5年の救助出場件数は86件で、前年比で23件増加しました。

交通事故と、1 人暮らし世帯の安否確認や鍵が壊れて閉じ込められるなどの建物等事故が大幅に増加しました。

救助出場件数							
事故種別		出場件数		活動件数			
子 IX 1主 //i	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	
火 災	1	4	3	1	4	3	
交 通 事 故	28	39	11	19	17	A 2	
水 難 事 故	7	8	1	4	3	1	
自然災害	3		A 3				
機械事故	5	2	A 3	4	1	A 3	
建物等事故	5	20	15	4	17	13	
ガス酸欠事故							
破 裂 事 故							
その他事故	14	13	1	12	7	A 5	
合 計	63	86	23	44	49	5	

2 地域別救助出場状況

	地域別救助出場件数										
				救	助事故種	別			出場件数		
		火災	交 通 事 故	水難事故	自然災害	機 械 事 故	建 物 等 事 故	その他事故	令 和 5 年	令 和 4 年	増減
	旧上越市	2	17	6		1	16	2	44	25	19
	安 塚 区							1	1	2	A 1
上	浦川原区		1						1	2	A 1
	大島区							1	1	2	A 1
	牧 区		1						1	2	A 1
	柿 崎 区		2				1		3	5	A 2
	大 潟 区		3	1					4	2	2
越	頸 城 区	1	1	1			1		4		4
	吉川区							1	1		1
	中 郷 区		1						1	1	
	板 倉 区		2						2	1	1
	清 里 区							1	1	2	1
市	三 和 区							1	1		1
	名 立 区									1	1
	小 計	3	28	8		1	18	7	65	45	20
	新井地域		5				2		7	6	1
妙高	妙高高原地域	1	2			1		5	9	6	3
市	妙高地域		3					1	4	5	1
	小 計	1	10			1	2	6	20	17	3
ft.	市 町 村		1						1	1	
合	令和5年	4	39	8		2	20	13	86	63	23
計	令和4年	1	28	7	3	5	5	14	63		
	増減	3	11	1	▲ 3	▲ 3	15	1	23		

通信編

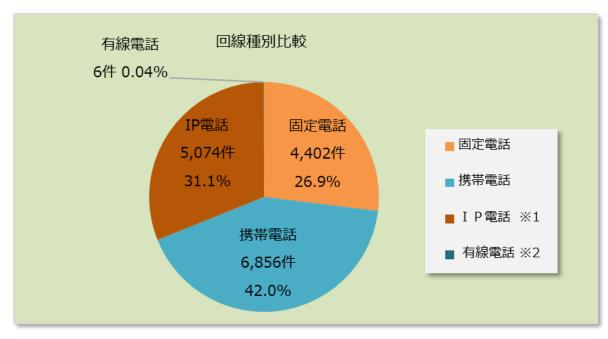
1 119番受付状況

■119番通報は16,338件

令和5年の119番通報受付件数は16,338件で、前年比で1,596件増加しました。1日平均約44.8件、約32.2分に1回の割合で119番通報を受け付けたことになります。

通報種別件数							
	令和4年	割合	割合	増減			
火 災	85	0.6%	124	0.8%	39		
救急	9,254	62.8%	9,879	60.5%	625		
救 助	39	0.3%	29	0.2%	▲ 10		
警戒	130	0.9%	94	0.6%	▲ 36		
通報訓練※1	3,686	25.0%	4,144	25.4%	458		
まちがい*2	851	5.8%	1,450	8.9%	599		
問 合 せ*3	697	4.7%	618	3.8%	▲ 79		
合 計	14,742	100%	16,338	100%	1,596		

- ※1 「試験」を含む
- ※2 「いたずら」を含む
- ※3 「病院照会」等を含む



※1 IP 電話: インターネットプロトコルを利用した電話サービス

※2 有線電話:上越有線、新井有線

2 口頭指導実施状況

■口頭指導件数は 764 件

119番通報受信時、通報者に対して傷病者の状態に応じた応急手当を指導した件数です。

	令和4年	令和5年	増減
心肺蘇生	6	7	1
胸骨圧迫	378	324	▲ 54
異物除去	1	6	5
止 血	331	383	52
熱傷	3	1	▲ 2
指趾切断			
その他	37	43	6
合 計	756	764	8

3 外国語通訳状況

■三者間同時通訳の利用は 22 件

外国人からの119番通報時や救急現場等で利用した件数です。

	令和4年	令和5年
1月	2	2
2月		3
3月		
4月		
5月	2	2
6月	2	1
7月		
8月		
9月		2
10月	1	2
11月		2
12月	5	8
合 計	12	22

令和5年火災・救急・救助・通信の概況

上越地域消防局 概況 Q

当局ホームページにも掲載しています

上越地域消防局 発行 上越市大字藤野新田 330 番地 1